	'上耒尚き	等專門学校	開講年度 令和05年	F度 (2023	年度)	授業科目	医工・福祉(0956)		
科目基礎			1	(= = = =	/				
<u>17 山 坐 以</u> 科目番号	ACTH+IX	5C12		科目		専門/選択	5		
授業形態		講義			<u>にカーーー</u> の種別と単位数	履修単位:			
開設学科		産業シス	ステム工学科マテリアル・バイオ		. ,	5			
一ス			 1st-Q),夏学期(2nd-Q)			1st-0:2.2	nd-O:2		
加取利 教科書/教	7. *		<u> </u>	[25]	IDIXA	1st-Q:2 2nd-Q:2			
担当教員	(יוי)		<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	前多 隹 人 岡部	虾 孝裕 掛端 伸出	b FB 恭介			
= <u></u> 到達目標	 要	AA		117 + /\/ -10	11 J 10/JEI 2111 1111 C	5,工四 派/1			
2. 医工学 3. 福祉等 4. 医工学 きる。	学分野の基 学分野の基 学・福祉学	礎について作 礎について作	こついて理解し説明できる。 列を挙げて説明できる。 列を挙げて説明できる。 列を挙げて説明できる。 引分野との関連性を見出し、この	分野における	技術的な課題を	名自のもって(いる専門知識から検討することがで		
ルーブリ	ノック								
			理想的な到達レベルの目安	理想的な到達レベルの目安 標準的な到		の目安	未到達レベルの目安		
医工学分野 げて説明で		ついて例を	いて例を挙 医工学分野の基礎について複数の 例を挙げて説明できる。		医工学分野の基礎について例を挙 げて説明できる。		医工学分野の基礎について例を挙 げて説明できない。		
福祉学分野 げて説明で	野の基礎に できる。	ついて例を	福祉学分野の基礎について複例を挙げて説明できる。		学分野の基礎に 説明できる。	ついて例を挙	福祉学分野の基礎について例を挙げて説明できない。		
医工学分野 自身の専門 できる。	野・福祉学 門分野と関	分野につい 連付けて説明	医工学分野・福祉学分野につまた。 自身の専門分野と関連付けての例を挙げて説明できる。	て複数 自身	学分野・福祉学 の専門分野と関 て説明できる。	分野について 連付けて例を	医工学分野・福祉学分野について 自身の専門分野と関連付けて例を 挙げて説明できない。		
	引捧日梅	 項目とのB		[] 1 7)	CD/0-21 CG.90		1 3-17 (MI2) (C.QA)		
			<u>別弁</u> ィプロマポリシー DP3 〇 ディプ	°□⊋₩⊔≥	. DDF @				
ァイノロヽ 教育方法		DLT () ⊥-	ノロマハソンー DP3 U テイノ	ロマハリンー	י כאט ⊍				
概要 いる。 など 行う・ 土と			あったものづくりや環境の提供が求められている。この目的で医工学や健康福祉工学という境界分野が発展してこれからの高齢化社会に対し広い視野と社会のエーズに強い関心をもち、医学、機械工学、電気情報工学、化学なな面から医工・福祉分野の基礎を学び、専門技術とのかかわりと今後の可能性を探るため、講義形式で授業をのである。全15週のうち、88週、第9週、および、第12週の授業は、医療機関で放射線科医や臨床工学技で実務を有する者が担当する。						
授業の進め方・方法		し、自分 福祉の係	生体システムとしての人間特性、健康を維持する技術、利便性と安心安全を調和させるシステムに対する関心をひきし、自分の考えを持てるように授業を進める。非常勤講師を含む多くの教員が分担してそれぞれの専門分野から医工福祉の係わる基礎的事項と課題を紹介する。また、講義は、配布プリントとスライドを中心に進める。レポートや課題100%として評価を行い、総合評価は100点満点として、60点以上を合格とする。						
注意点		専門用語	専門用語や時事用語が数多く出るので、ノートをとりその基本的考えを理解すること。 授業中での理解に加え、新聞・ 雑誌、インターネット等から社会についての状況把握に努め、家族な ど身近な実例を通して自ら検討することにより、 考え方の習得に努めること。 成績は各担当教員が課す演習課題・レポートに対する取り組みを総合的に評価する。総合 評価を100点満点として、60点以上を合格とする。公欠時に課題・レポート未提出の場合、成績は評価されないので担 当教員の指示に従い対応すること。						
		考え方の 評価を1)習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合	ての状況把握 ∃当教員が課す	に努め、家族な 「演習課題・レオ	: ど身近な実例 パートに対する:	を通して自ら検討することにより、 取り組みを総合的に評価する。総合		
	属性・履行	考え方 <i>0</i> 評価を1 当教員 <i>0</i>	D習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合 D指示に従い対応すること。	ての状況把握 ∃当教員が課す	に努め、家族な 「演習課題・レオ	: ど身近な実例 パートに対する:	を通して自ら検討することにより、 取り組みを総合的に評価する。総合		
授業の原	属性・履 <u>(</u> Fィブラー <u>:</u>	考え方の 評価を1 当教員の 修上の区分	D習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合 D指示に従い対応すること。	ての状況把握 3当教員が課す 格とする。公	に努め、家族な 「演習課題・レオ	: ど身近な実例 パートに対する:	を通して自ら検討することにより、 取り組みを総合的に評価する。総合		
授業の原 」 アクテ	ティブラーニ	考え方の 評価を1 当教員の 修上の区分)習得に努めること。 成績は各拒 00点満点として、60点以上を合)指示に従い対応すること。 } 	ての状況把握 3当教員が課す 格とする。公	に努め、家族な 「演習課題・レオ 大時に課題・レ	: ど身近な実例 パートに対する:	を通して自ら検討することにより、 取り組みを総合的に評価する。総合 の場合、成績は評価されないので担		
受業の原 」 アクテ	ティブラーニ	考え方の 評価を1 当教員の 修上の区分	D習得に努めること。 成績は各担00点満点として、60点以上を合 D指示に従い対応すること。 } □ ICT 利用	ての状況把握 3当教員が課す 格とする。公	に努め、家族なける。 では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	ど身近な実例 ポートに対する ポート未提出の	を通して自ら検討することにより、 取り組みを総合的に評価する。総合 D場合、成績は評価されないので担 □ 実務経験のある教員による授		
受業の原 〕 アクテ	ティブラーニ	考え方の 評価を1 当教員の 修上の区分 ニング	D習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合 つ指示に従い対応すること。	ての状況把握 3当教員が課す 格とする。公	に努め、家族なけ演習課題・レスク時に課題・レスクラスを表現では、大学に課題・レスクラスを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	ど身近な実例 ペートに対する。ポート未提出の	を通して自ら検討することにより、 取り組みを総合的に評価する。総合 の場合、成績は評価されないので担 □ 実務経験のある教員による授		
受業の原 〕 アクテ	ティブラーニ	考え方の 評価を1 当教員の 修上の区分 ニング 週 週	D習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合 つ指示に従い対応すること。	ての状況把握 3当教員が課す 格とする。公	に努め、家族なけ演習課題・レオスの時に課題・レスターでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	ど身近な実例 ペートに対する。ポート未提出の がよりをできません。 でとの到達目標 でとの観達目標	を通して自ら検討することにより、 取り組みを総合的に評価する。総合 の場合、成績は評価されないので担 実務経験のある教員による授業を理解する。		
受業の原 〕 アクテ	ティブラーニ	考え方の 評価を1 当教員の 修上の区分 ニング 週 1週 2週	D習得に努めること。 成績は各拒 00点満点として、60点以上を合う指示に従い対応すること。 } □ ICT 利用 授業内容 ガイダンス 血液・循環器系の力学(1)	ての状況把握 3当教員が課す 格とする。公	に努め、家族なけ演習課題・レオンク時に課題・レスターでは、実際では、というでは、大学では、関係を対応を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	ど身近な実例 ペートに対する ポート未提出の でとの到達目標 ・福祉の概要 を、循環器系の	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総合の場合、成績は評価されないので担 実務経験のある教員による授 を理解する。		
受業の原 〕 アクテ	ティブラーニ	考え方の 評価を1 当教員の 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	○習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合 01 当示に従い対応すること。	ての状況把握 3当教員が課す 格とする。公	に努め、家族なけ演習課題・レオペク時に課題・レヤを	ど身近な実例ポートに対するポート未提出の ボート での到達目標 でとの到達目標 で、福祉の概要 で、循環器系の で、循環器系の で、循環器系の で、循環器系の	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総合の場合、成績は評価されないので担 実務経験のある教員による授 を理解する。 仕組みを力学的に理解する。 仕組みを力学的に理解する。		
授業の原 」 アクテ	ゴー	考え方の 評価を1 当教員の 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週	○習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合 01 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ての状況把握 3当教員が課す 格とする。公	に努め、家族なけている。 では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	ど身近な実例 ポートに対する。ポート未提出な を・福環器系の を・循環器系の を・循環器系の関	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総合の場合、成績は評価されないので担 実務経験のある教員による授めを理解する。 仕組みを力学的に理解する。 仕組みを力学的に理解する。 りについて理解する。		
授業の原 」 アクテ	ティブラーニ	考え方の 評価を1 当教員の 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	○習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合 01 当示に従い対応すること。	ての状況把握 3当教員が課す 格とする。公	に努め、家族なけ、資料では、大阪時に課題・レスクロックでは、できないでは、できないでは、「はいった」では、「はいいでは、」は、「はいった」では、「はいった」では、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、は、は、は、は、は、は	ど身近な実例 ペート未提出の でとの到達目標 ・福環器系の を・循環器系の を・循環器系の関 を・電磁界の関	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総合の場合、成績は評価されないので担 実務経験のある教員による授めを理解する。 仕組みを力学的に理解する。 仕組みを力学的に理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。		
受業の原 」 アクテ	ゴー	考え方の 等え方の 評計教員の 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週	○習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合う指示に従い対応すること。	ての状況把握 3当教員が課す 格とする。公	に努め、家族なけっぱい。 では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	ど身近な実例 ポート末提出の ジャート末提出の では、循環器系の を、循環器系の関 を、電磁界の関 を、電磁界の関 をと電磁界の関 をと電磁界の関 をと電磁界の関 をと電磁界の関 をと電磁界の関	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総合の場合、成績は評価されないので担 実務経験のある教員による授 生組みを力学的に理解する。仕組みを力学的に理解する。 りについて理解する。りについて理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。		
受業の原 〕 アクテ	ゴー	考元方の 考元方の 学上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	○習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合 つ指示に従い対応すること。	ての状況把握 3当教員が課す 格とする。公	に努め、家族レインのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	ど身近な対すの ポート未提出の ごとの到達目標 こ・福祉の概要 し、循環器系の し、循環器系の関すと電磁界の関 まと電磁界の関 まと電磁界の関 まとでである。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総合の場合、成績は評価されないので担じま務経験のある教員による授工 実務経験のある教員による授を理解する。 仕組みを力学的に理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 類学の基礎、応用および実用例を特質学の基礎、応用および実現の表質学の表質学の表質学の表質学の表質学の表質学の表質学の表質学の表質学の表質学		
受業の原] <i>アクテ</i> 受業計画	ゴー	考元方の 考元方の 学上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	○習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合う指示に従い対応すること。	ての状況把握 3当教員が課す 格とする。公	に努め、家族なが、家族なが、次時に課題・レレーを開発を受け、大久時に課題・レートを関係を受け、関係を対応を関係を対応を関係を対応を関係を対応を関係を対応を関係を対応を関係を対応を関係を対応を対応している。	ど身近な実例 ペート未提出の でとの到達目標 で、福環器系の を、循環器系の関 を、循環器系の関 をと電磁界の関 がと電磁界の関 がとででである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総合の場合、成績は評価されないので担 実務経験のある教員による授 実務経験のある教員による授 を理解する。 仕組みを力学的に理解する。 りについて理解する。りについて理解する。 りについて理解する。 類学の基礎、応用および実用例を等 類学の基礎、応用および実用例を等 エ学的技術の事例を学ぶ。		
受業の原] <i>アクテ</i> 受業計画	ゴー	考元方の 考元方の 学上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	○習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合 つ指示に従い対応すること。	ての状況把握当当教員が課で、格とする。公	に努め、家族レオンスのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	ど身近な対すまり でよった未提出ない。 でとの到達達している。 では、福環のでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総合の場合、成績は評価されないので担 実務経験のある教員による授 実務経験のある教員による授 を理解する。 仕組みを力学的に理解する。 仕組みを力学的に理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 類学の基礎、応用および実用例を等類学の基礎、応用および実用例を等		
受業の原	ゴー	考示の区分 字	図得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合う指示に従い対応すること。	ての状況把握当当教員が課で、格とする。公	に努め、家族レオンスのでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	ど身近なすま例 でよった未提出な ではなずすま出な では、ポート未提出な では、一ト・ では、一ト・ では、一ト・ では、一ト・ では、一ト・ では、一、 では、これ、 では、 では、これ、 では、これ、 では、これ、 では、これ、 では、これ、 では、これ、 では、これ、 では、これ、 では、これ、 では、これ、 では、これ、 では、これ、 では、これ、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総合の場合、成績は評価されないので担しま務経験のある教員による授を理解する。 仕組みを力学的に理解する。 仕組みを力学的に理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 りだったでは、応用および実用例を対策学の基礎、応用および実用例を対する。 類学の基礎、応用および実用例を対策学の基礎、応用および実用例を対策がある。		
受業の原	ゴー	考元の 子の区分 上の区分 上の区分 上の区分 10週 10週 10週 10週 10週 10週 10週	図得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合う指示に従い対応すること。 }	ての状況把握当当教員が課で、格とする。公	に努め、家族レイスの時に課題・レートを関する。 「は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	ど身に対すまりによりではいます。 ではいますま出いでは、できたして、 できたでは、できたでは、できたでは、できたでは、できたでは、できたでは、できたでは、できたでは、できたでは、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総合の場合、成績は評価されないので担しま務経験のある教員による授を理解する。 仕組みを力学的に理解する。 仕組みを力学的に理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 類学の基礎、応用および実用例を覚類学の基礎、応用および実用例を覚工学的技術の事例を学ぶ。 工学的技術の事例を学ぶ。 工学的技術の事例を学ぶ。 ・福祉への応用 じたヘルスケアについて理解する。		
授業の原	ゴー	考示の区分 字	図得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合う指示に従い対応すること。	ての状況把握当当教員が課で、格とする。公	に努め、家・している。 「ないない」では、 「ないない」では、 「ないない」では、 「ないないない」では、 「ないないないないない。 「ないないないないないないないない。 「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	どよいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総合の場合、成績は評価されないので担しま務経験のある教員による授を理解する。 仕組みを力学的に理解する。 仕組みを力学的に理解する。りについて理解する。りについて理解する。 類学の基礎、応用および実用例を関 類学の基礎、応用および実用例を関 工学的技術の事例を学ぶ。 工学的技術の事例を学ぶ。 ・福祉への応用 じたヘルスケアについて理解する。 よび診断事例を学ぶ。 体材料の生体内における力学的特性		
授業の原 □ アクテ 授業計画	ライブラー: IstQ	表示の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の	○習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合う指示に従い対応すること。	ての状況把握当当教員が課で、格とする。公	に努め、家族レインを関係を対応に課題し、「大人の一般を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、関係を対して、対して、関係を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	どよの到達は では、ポート末 との到達は概なするは、 では、イートをできる。 ・では、イートをできる。 ・では、イートをできる。 ・では、イートをできる。 ・では、イートをできる。 ・では、イートをできる。 ・では、イートをできる。 ・では、イートをできる。 ・では、イートをできる。 ・では、イートをできる。 ・では、イートをできる。 ・では、イートをできる。 ・では、 ・	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総名の場合、成績は評価されないので担しま務経験のある教員による授を理解する。 仕組みを力学的に理解する。 仕組みを力学的に理解する。りについて理解する。りについて理解する。 りについて理解する。 類学の基礎、応用および実用例を覚 類学の基礎、応用および実用例を覚 工学的技術の事例を学ぶ。 工学的技術の事例を学ぶ。 ・福祉への応用 じたヘルスケアについて理解する。 よび診断事例を学ぶ。 体材料の生体内における力学的特性する。 収性セラミックス材料の違いと応用		
授業の原 □ アクテ 授業計画	ライブラー: IstQ	表示の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の	○習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合う指示に従い対応すること。	ての状況把握当当教員が課で、格とする。公	に努め、家・して、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では	だけ、ボートには、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総合の場合、成績は評価されないので担しま務経験のある教員による授しまる力学的に理解する。 仕組みを力学的に理解する。 性組みを力学的に理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 したついて理解する。 なずの基礎、応用および実用例を学類学の基礎、応用および実用例を学ぶ。 工学的技術の事例を学ぶ。 工学的技術の事例を学ぶ。 ・福祉への応用 じたヘルスケアについて理解する。 よび診断事例を学ぶ。 体材料の生体内における力学的特性する。 収性セラミックス材料の違いと応用。 全体を振り返り、自身の専門分野と		
授業の原 □ アクテ 授業計画	ライブラー: IstQ	Part	○習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合 つ指示に従い対応すること。	ての状況把握当当教員が課で、格とする。公	に努め、家・して、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では	だけった できない できない できない できない できない できない できない できない	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総合の場合、成績は評価されないので担しま務経験のある教員による授しまる力学的に理解する。 仕組みを力学的に理解する。 性組みを力学的に理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 したついて理解する。 なずの基礎、応用および実用例を学類学の基礎、応用および実用例を学ぶ。 工学的技術の事例を学ぶ。 工学的技術の事例を学ぶ。 ・福祉への応用 じたヘルスケアについて理解する。 よび診断事例を学ぶ。 体材料の生体内における力学的特性する。 収性セラミックス材料の違いと応用。 全体を振り返り、自身の専門分野と		
受業の原プアクテ	ライブラーニ 国 1stQ	Part	○習得に努めること。 成績は各担 00点満点として、60点以上を合 つ指示に従い対応すること。	ての状況把握当当教員が課で、格とする。公	に努め、家・して、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では	だけった できない できない できない できない できない できない できない できない	を通して自ら検討することにより、取り組みを総合的に評価する。総台の場合、成績は評価されないので担しま務経験のある教員による授を理解する。 仕組みを力学的に理解する。 仕組みを力学的に理解する。りについて理解する。りについて理解する。 りについて理解する。 りについて理解する。 質学の基礎、応用および実用例を特質学の基礎、応用および実用例を特質学の基礎、応用および実用例を特質学の表別を学ぶ。 工学的技術の事例を学ぶ。 工学的技術の事例を学ぶ。 ・福祉への応用 じたヘルスケアについて理解する。よび診断事例を学ぶ。 ・体材料の生体内における力学的特性する。 収性セラミックス材料の違いと応用。 全体を振り返り、自身の専門分野と		

評価割合											
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題	合計				
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100				
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100				
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0				
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0				